

SHIBUSAWA EIICHI AWARD 2023

第22回 渋沢栄一賞

募集



渋沢史料館所蔵

表彰します！“令和の渋沢栄一”

優れた経営と社会貢献を行う
全国の企業経営者を御推薦ください。

応募締切

令和5年

9月8日金

彩の国  埼玉県



「日本資本主義の父」と称される渋沢栄一翁は、500社を超える企業の設立や運営に携わるとともに、福祉、教育、国際親善など約600もの公益事業に力を尽くした、郷土埼玉の誇りです。

渋沢翁は、企業経営の根底には道徳が必要であるとの考えの下、企業の目的が利潤の追求にあるとしても、その利益を社会に還元する必要があることを訴え続けました。こうした考えが現在も必要とされているからこそ、関係した多くの企業や事業が今なお存在し、日本経済や社会をけん引しているのだと思います。

江戸、明治、大正、昭和と激動の時代を生き抜いた渋沢翁は、時代の変化を受け入れて柔軟に対応し、偉大な功績を残されました。社会経済環境の変化が著しい現在においても、その精神や生き方は我々の指針となるものです。

この「渋沢栄一賞」は、渋沢翁の功績や生き方を顕彰し、その精神を受け継ぐ全国の企業経営者を表彰するものです。この賞を通じて、埼玉から全国へ企業家のあるべき姿を発信しています。

渋沢翁が肖像となる新一万円札の発行が来年に迫る中、第22回となる今年度も現代の渋沢栄一と呼ぶにふさわしい方に賞が贈られますよう、全国の皆様から多くの御推薦をお待ちしております。

埼玉県知事 大野元裕

前回の受賞者 (五十音順)

※役職名等は、受賞当時のものです。



こばやし ゆきお
小林 幸雄 氏

大鵬薬品工業株式会社 特別相談役
<東京都千代田区>

大鵬薬品工業(株)は、医薬品等の製造を行う企業です。1963年創業。従業員数2,187人。同氏は、1969年、ラトビアより新規抗がん剤の導入を決定し、当時まだ世界的にも汎用されていない経口抗がん剤として開発に成功しました。これにより、自宅で日常生活を送りながらの外来治療を可能にし、入院で外科的治療が主流だったがん治療に新たな道を切り拓きました。

また、2006年に小林がん学術振興会を設立し、がん薬物療法に関する革新的治療法や先駆的治療法に関する研究などへの助成を実施されています。



にわ きみお
丹羽 公男 氏

タイム技研株式会社 名誉会長
<愛知県丹羽郡大口町>

タイム技研(株)は、ガス・水・電子の機能部品の開発・製造を行う企業です。1978年創業。従業員数264人。同氏は、海外ガス機器の厳しい環境基準をクリアする高性能ガスバルブを開発し、国内外から高い評価を得ています。2015年には、(公社)中小企業研究センター主催のグッドカンパニー大賞にて優秀企業賞を受賞されています。

また、1996年にタイム技研社会貢献委員会を設立し、同社の税引前利益の1%と丹羽氏の私財を活動基金として、社会貢献や慈善的寄付を実施されています。



ふくだ あきひで
福田 秋秀 氏

株式会社エフテック 最高顧問
<埼玉県久喜市>

(株)エフテックは、自動車部品・附属品や、アルミ・同合金プレス製品などの製造を行う企業です。1947年創業。従業員数775人。同氏は、機能部品の開発・生産効率・品質・採算等の向上を図るべく、研究開発・設計・プレス・溶接・塗装・組立の全てを自社で行う一貫加工体制を構築しました。さらに、北米・アジアを中心に開発・生産拠点を海外に設立し、グローバル化の礎を築きました。

また、同社は2016年にエフテック奨学財団を設立し、2021年までに約180名の学生に奨学金を給付されています。

1 対象者

渋沢栄一の精神を受け継ぐような企業活動と社会貢献を行っている、地域に根差した企業の経営者です。
※企業規模は問いません。

具体的には、以下の①及び②に該当する企業経営者です。例としては、以下のものが挙げられます。

- ①企業倫理に則り健全かつ優れた経営を行っている
 - 社会の新しい課題へ対応する企業活動
 - 特徴のある企業活動
 - 豊かな社会を実現するための先駆的な企業活動 など
- ②社会貢献や地域貢献を行っている
 - 奨学金支給、障害者への支援
 - 環境保全活動、文化事業等への継続的支援
 - 国際貢献活動 など

2 推薦・情報提供方法

国・地方公共団体、関係団体等から推薦・情報提供をいただきます（自薦は不可）。

重要

- 概要書の提出にあたっては、必ずしも候補者の了解を得る必要はありません。
- 第1次選考通過者の推薦団体等には別途、企業活動及び社会貢献活動の補足資料の提供を依頼することがあります。

推薦・情報提供にあたっては 渋沢栄一賞候補者概要書 に記入の上、「6 提出・問合せ先」まで郵便（簡易書留）、Eメール又はFAXで送付してください。
様式は埼玉県のホームページからダウンロードできます。

渋沢栄一賞

検索

3 応募締切

令和5年9月8日(金)

4 選考方法

渋沢栄一賞選考委員会の審査を経て、埼玉県知事が決定します。

5 発表・表彰

令和6年1月に発表し、2月に表彰式を行う予定です。

6 提出・問合せ先

埼玉県産業労働部 産業労働政策課
渋沢栄一賞受付担当



〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

Tel 048-830-3726 Fax 048-830-4818 E-mail : a3710-02@pref.saitama.lg.jp

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/sibusawaeiichishou.html>

渋沢栄一翁の 功績

[1840 ~ 1931]

渋沢栄一は、天保11(1840)年に現在の埼玉県深谷市に生まれました。

慶応3(1867)年に渡欧して欧州諸国の実情を見聞し、先進諸国の社会の内情に広く通ずることができました。明治維新となり欧州から帰国した栄一は、明治政府に出仕。民部省・大蔵省の一員として新しい国づくりに深く関

与ります。明治6(1873)年に大蔵省を辞した後、栄一は実業界に転身。道徳経済合一説を唱え、一民間経済人として活動しました。

道徳経済合一説とは、倫理と利益の両立を掲げ、利益を独占するのではなく、国全体を豊かにする為に、富は全体で共有するものとして、社会に還元することを説いたものです。

栄一はその考えを実践し、生涯に約500もの企業の設立や運営に関わり、また約600の教育機関や社会公共事業の設立・運営並びに民間外交に尽力しました。

これらの企業や社会事業は、現代の社会においてそれぞれの分野で中心的役割を担っており、栄一の想いが時代を越えて脈々と生き続けています。



渋沢史料館所蔵

▲院長を務めた養育院の病室を訪れる栄一

参考 <https://www.shibusawa.or.jp>
(公益財団法人渋沢栄一記念財団 URL)



渋沢史料館所蔵

▲栄一が設立に関わった第一国立銀行



渋沢史料館所蔵

▲女子教育に携わり、校長も務めた日本女子大学校

渋沢栄一が関係した主な企業・団体

(株)IHI、アサヒビール(株)、王子製紙(株)、川崎重工業(株)、京阪電気鉄道(株)、サッポロビール(株)、清水建設(株)、JFEスチール(株)、太平洋セメント(株)、(株)ダイセル、大日本明治製糖(株)、(株)帝国ホテル、東京海上日動火災保険(株)、東京ガス(株)、東京証券取引所、東宝(株)、常磐興産(株)、(株)東洋経済新報社、東陽倉庫(株)、東洋電機製造(株)、東洋紡(株)、富岡製糸場、日本銀行、(株)日本経済新聞社、日本商工会議所、日本陶料(株)、日本郵船(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)みずほ銀行、(株)リーガルコーポレーション、(株)りそな銀行、(株)埼玉りそな銀行

渋沢栄一が関わった主な社会事業

★ 社会福祉施設

東京市養育院、中央慈善協会、恩賜財団慶福会、東京市施設職業紹介所、埼玉育児院、(社福)白十字会、(社福)埼玉県共済会、滝乃川学園、中央盲人福祉協会

★ 保健団体・医療施設

日本赤十字社、(公社)東京慈恵会、聖路加国際病院、同愛社、(公財)日本結核予防協会、(社福)恩賜財団済生会

★ 教育関係

一橋大学、東京女学館、日本女子大学、東京大学、早稲田大学、二松学舎大学

★ 国際団体・親善事業

日仏会館、日露協会、日印協会、大日本平和協会、ルーヴェン国際事業委員会、大東文化協会、在米日本人会、日米同志会、太平洋問題調査会、日本国際児童親善会

※現存する企業、団体等は原則として現在の名称で表記しました。

主催：  埼玉県 ・  公益財団法人 渋沢栄一記念財団 ・  深谷市

後援：総務省・中小企業庁・全国知事会・(一社)日本経済団体連合会・日本商工会議所・全国商工会連合会・全国中小企業団体中央会・全国商店街振興組合連合会・(独法)国際協力機構・(独法)国際交流基金・(独法)中小企業基盤整備機構関東本部・(社福)全国社会福祉協議会・(一社)埼玉県商工会議所連合会・埼玉県商工会連合会・埼玉県中小企業団体中央会・(一社)埼玉県経営者協会・(一社)埼玉県経営合理化協会・埼玉経済同友会・(社福)埼玉県社会福祉協議会・日本赤十字社埼玉県支部・日本経済新聞社さいたま支局・日刊工業新聞社さいたま総局

協賛：(公財)埼玉県産業文化センター



コバトン・さいたまっちゃん